

講義名	ランドスケープ保全論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	山下 香		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	21029

主題と概要

ランドスケープ(Landscape)は、景観と訳され、自然環境や建築物といった物的な要素と、人の営みやコミュニティといった人的な要素により形成される。本講義では、ランドスケープを契機として「地域資源」という概念を学んだ上で、今後急速に進行する少子高齢社会において「地域資源」を活用し、新たな価値を創造する能力を育成する。具体的には、前半でランドスケープの事例や「地域資源」の発掘手法を学び、後半では自分自身が選択した地域における「地域資源」を活用した観光立案をProject Based Learningという実践を通して作成することを目的とする。

到達目標

ランドスケープの諸事例を把握し、説明できるようになる。
 ランドスケープと景観の違いを理解し、説明することができるようになる。
 「地域資源」という概念を理解し、分類することができるようになる。
 RESAS(地域経済分析システム)を用いて、自分が選んだ地域の課題や現状を分析できるようになる。
 特定の地域において新たな価値を持ちうる「地域資源」を発掘できるようになる。
 ~ の過程を実践を通して他の学生と「サイボウス」を用いて共有できるようになる。
 ~ を駆使することで、自分が選んだ地域における観光戦略を立案できるようになる。

提出課題

- ・各回設定する宿題(ワークシート・調査シート)
- ・RESAS(地域経済分析システム)オンライン講座の修了証
- ・最終成果物である観光立案を紹介するプレゼン資料(パワーポイント)

評価の基準

出席日数や提出課題に加えて、～において設定するルーブリックを用いて講義への主体的な参加や習熟度などを評価する。ルーブリックは講義初日に説明し、提出課題とともにルーブリックの到達度を返却する。これにより教員と学生との間で、評価基準を共有する。

- ・参加度(出席日数):30%
- ・提出物の到達度:5%
- ・中間レポートの到達度:10%
- ・RESASオンライン講座修了証:5%
- ・最終成果物の到達度:20%
- ・期末試験(筆記試験)の到達度:30%

履修にあたっての注意・助言他

- ・最終成果物である観光立案の対象地となる「地域」を前半で必ず選択しておくこと。
- ・「主題と概要」に記載したように、本講義は今後急速に進行する少子高齢社会において「地域資源」を活用し、新たな価値を創造する能力を育成することを目的としている。そのためには、教員、学生共に講義への主体的な参加という姿勢が必須である。講義に出席しているだけでは単位取得は不可となる。PCやインターネット環境を用いた学内・学外学習を行うために、メディアセンターや図書館の活用を積極的に行う必要がある。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

- ・RESAS資料 配布予定
- ・プリント資料及び参考文献 配布予定
- ・各回で使用するワークシートや調査シート 配布予定
- ・RESAS(地域経済分析システム)

授業計画

第1回：本講義の概要とルーブリック説明、ランドスケープと地域資源の定義
 第2回：前半 ランドスケープと(自然)/RESASとは?実習
 第3回：前半 ランドスケープ(大建築)/RESAS使い方実習
 第4回：前半 ランドスケープ(小建築)/RESAS使い方実習
 第5回：前半 ランドスケープ(まちなみ)/RESAS使い方実習
 第6回：前半 ランドスケープ(コミュニティ)/RESAS使い方実習
 第7回：前半 ランドスケープ(人の営み)/RESAS使い方実習
 第8回：前半 地域資源の概念/中間レポート
 第9回：後半 地域資源の発掘 1 /RESAS活用事例
 第10回：後半 地域資源の発掘 2 /RESAS活用事例
 第11回：後半 発掘した地域資源の共有と分類
 第12回：後半 地域の現状と地域資源の統合 1
 第13回：後半 地域の現状と地域資源の統合 2
 第14回：後半 プレゼンテーション
 第15回：後半 プレゼンテーション

予習・復習

本講義では、反転学習を用いることから、RESAS(地域経済分析システム)のウェブ学習を授業外時間において受講し、修了証を取得することとする。また、「地域資源」の発掘については、自分を取り組みたい地域を選び、事前にその地域に存在する「地域資源」を発掘した上で、講義に臨み、学生間の共有を行うこととする。

備考

- ・最終成果物である観光立案の対象地となる「地域」を前半で必ず選択しておくこと。
- ・第14回、第15回では、プレゼンテーションで用いるパワーポイントデータをは、就職時のポートフォリオ作成の意味を持つため、適宜アドバイスをもとに丁寧に作成すること。